



南の風

令和5年3月号2

学校教育目標「自ら考え判断し表現する子」

めざす児童像「自ら考える子 自ら判断する子 自ら表現する子」

☆今年の最重点目標「自ら考え判断し表現する力を育てる教育課程を創る」

☆スローガン「あいさつとお掃除とお花の学校」

風早南部小学校長 城川 早苗

桜の開花宣言が出され本格的な春の訪れとなりました。校庭の花壇やプランターには、色とりどりの花が咲き私たちを楽しませてくれています。

卒業式まであと2日、修了式まで6日となりました。今年度の卒業式は在校生代表として5年生も参加します。6年生は在校生としての経験がない卒業式となります。私が風早南部小学校に着任して初めての卒業式は、コロナ禍で保護者の参加も認められず、練習していた歌や呼びかけもできず、卒業証書をもろうという式でした。そんななかでも立派な卒業式だったことを覚えています。今年度は、来賓の参加もなく保護者の参加も2名まで限定しましたが、確実にコロナ禍前の卒業式に近づいてきています。6年生は5年生に自分たちの最後の姿を見ってもらうこと、5年生は6年生の立派な姿を引き継いでいこうとする姿が感じられました。すばらしい卒業式になること間違いなしです。

地区児童会の引き継ぎ



2日に地区児童会が行われました。この地区児童会も持って6年生の班長は引退です。登校班のなかで一番大きな学年が班長となります。新しい班になるのにあたり、6年生からアドバイスをうける場面もありました。

地区児童会の次の日から新しい班長を先頭に登校しています。一番後ろからその様子をあたたく見守る6年生の姿が見られました。1年間、下級生の安全を考えて登校してくれてありがとう。新1年生が入学したときは、少しゆっくり歩いてくれたり、集合時刻を早くしたりと考えてくれましたね。しっかりバトンは受けつぎました。



5年子ども司書誕生

子ども司書が5年生から4名誕生しました。今月は全校朝会がないため全校児童の前で紹介することは叶いませんでしたが、校長室で任命式を行いました。4名は本のよさを伝えたり、図書室にもっと足を運んでもらうように工夫したりしていきます。

高津風文庫のコンプリートの人数も15日現在191名です。1年1組、2年1組、3年2組は全員コンプリートしています。読書は心を豊かにします。この4名を中心に読書好きの子どもがもっと増えることを期待しています。



6年生を送る会

3日に6年生を送る会が行われました。3年ぶりに全校を介して行われました。会に先立ちまして児童会役員引き継ぎ式が行われました。旧児童会役員は、1年間がんばってきたことや受けついでほしいことなどを伝えました。そして花のアーチのなか、1年生のエスコートで6年生が入場しました。続いて各学年の発表です。感想とともに紹介します。

2年生 「野菜で元気」

生活科で野菜の勉強をずっと続けてきました。野菜のすばらしさや食べることの大切さが伝わってきました。歌や踊りはびったりと息があっていました。

3年生 「わすれられないおくりもの」

「わすれられないおくりもの」のなかで6年生のみなさんはアナグマさんのような存在でした。6年生の学校のために一生懸命活動した姿は3年生にとって「わすれられないおくりもの」になったのでしょうか。

1年生 「はる なつ あき ふゆ」

初めての学校生活。何もかもが初めての経験でした。最初は6年生にお手伝いをしてもらったけれど、今では自分たちでいろいろなことができるようになりました。歌やふりつけが1年生

らしくてかわいかったです。

4年生 「あこがれの6年生を目指して」

何をやってもかっこいい6年生。跳び箱も縄跳びも今はかなわないけれど、あこがれの6年生に近づくために頑張っていきますというメッセージを感じました。元気いっぱいな4年生らしい発表でした。

5年生 「幻灯会へようこそ」

「ゆきわたり」の幻灯会に6年生を招待するという設定がとても工夫されて、さすが5年生だと思いました。運動あり、踊りあり、フラッグありと多種多様でした。最後の歌が本当に上手でした。これからの南部小をしっかりと引き継いでいきますという覚悟が感じられました。

6年生 「オーハッピーデイズ」

英語の歌を披露してくれました。「オーハッピーデイズ」6年生が過ごしてきた小学校生活が楽しいものだったことが伝わってきました。そしてそんな楽しい小学校生活を送ってくださいというメッセージだと思いました。

今回は先生たちも6年生をお祝いしたいと佐々木先生のギター、増田先生のピアノに合わせて「世界でひとつだけの花」を歌いました。大盛り上がりでした。6年生喜んでくれたかな？



卒業式予行練習

6日から卒業式練習が始まっています。13日には5・6年合同で練習を行い、14日に予行練習が行われました。ステージにのぼり卒業証書をもらうことは、子どもたちにとって、とても緊張することだと思います。しかし証書を受けとるときに、私としっかり目を合わせ、なかにはにっこりと微笑む余裕のある子がいてびっくりしました。予行練習では、「おめでとう」と声をかけてみました。そうするとなぜか子「ありがとうございます」と返事を返す子がいてまたまたびっくり。この1年間学年目標である「対応力」を身につけたのだと感心してしまいました。

